

## 子ども主体の魅力ある学校づくり

枚方市では、一人に一台配備されたタブレット端末の効果的な活用などにより、子どもたちの多様な状況に合わせ、それぞれの個性を生かして主体

的に学ぶことができる「子ども主体の魅力ある学校づくり」を進めています。取り組みが進む枚方市の学校現場を少し覗いてみましょう。

### 発達支持的生徒指導

安全で安心な学校や教室の基盤となるのは「発達支持的生徒指導」です。これは特別な指導ではなく、日常の挨拶や声かけ、励まし、賞賛、対話を通じて、子どもたち一人ひとりの個性や良さを見つけ伸ばし、社会性や能力の発達を支える基本の考え方です。教職員は授業や行事の中で、子どもたちの成長をそっと支えています。

### ICTの効果的活用

ノートや鉛筆のように、タブレット端末を「文房具」のひとつとして活用しています。特性を生かして、情報の整理や意見の共有が容易になり、学習活動がより深く、広がりのあるものになるよう取り組んでいます。

### 合理的配慮

一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びを大切にすることで、困り感に気づき、全体の指導だけでなく、それぞれの子どものに合わせた「ちょっとした工夫や配慮」で安心して学べる環境づくりに取り組んでいます。

### 個別最適な学び

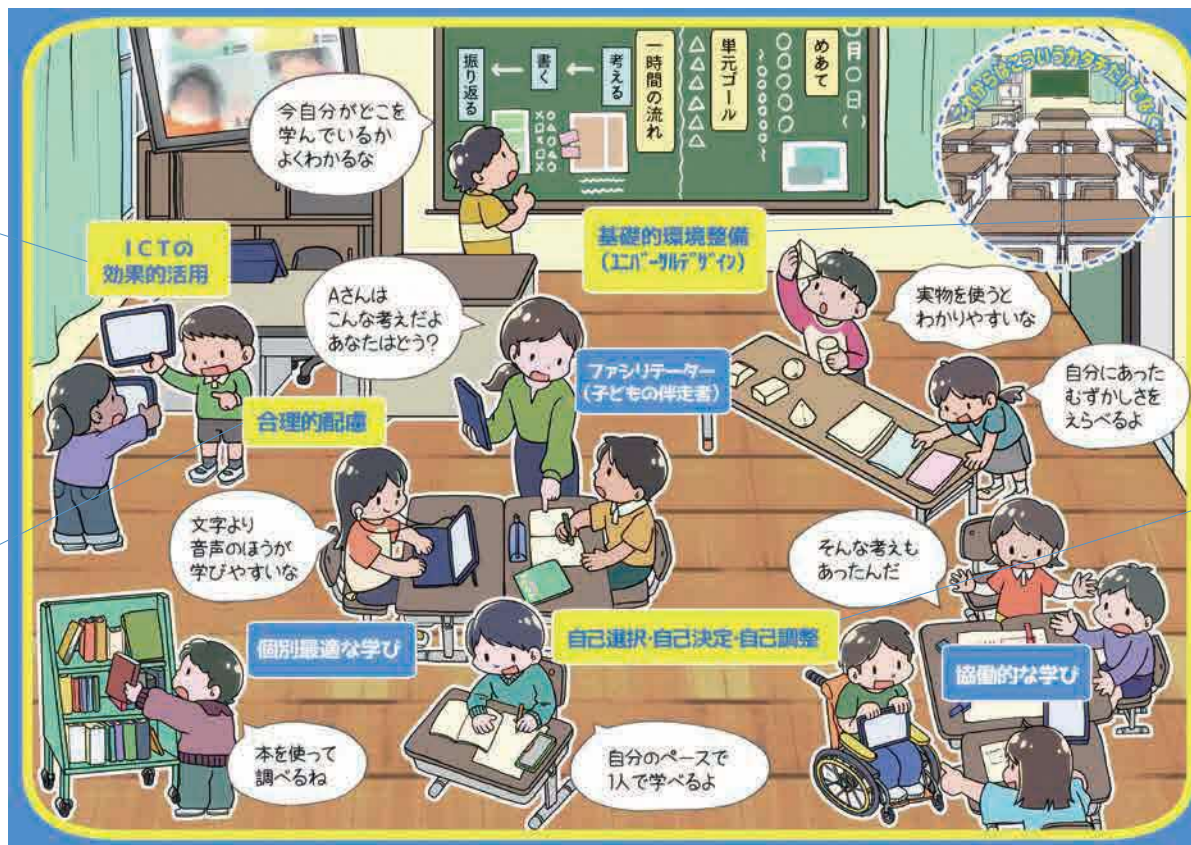
子どもたちは、興味・関心、理解の早さ、得意・不得意などがそれぞれ異なります。子ども一人ひとりの違いを大切にしながら、それぞれのペースや関心に応じた個別最適な学びの実現をめざします。

### ファシリテーター(子どもの伴走者)

これまでの授業では先生が一斉に教えることが中心でしたが、今は子ども主体の学びが重視されています。先生は知識を教える存在から、学びを支える伴走者の役割へと変わりつつあります。

### 協働的な学び

対話を通じて「そういう考え方もあるんだ」と気づく場面を作ることで、自分の考えを深めたり、新しいアイデアを生み出したりすることができるとともに、他者を尊重しながら学び力や協力する力を育てます。



### 基礎的環境整備 (ユニバーサルデザイン)

みんなが使いやすい、わかりやすい、過ごしやすいように工夫された学校の基礎的環境により、すべての子どもたちが大切にされていると感じる学校環境の整備に取り組んでいます。

### 自己選択・自己決定・自己調整

子どもたちが、「誰と学ぶのか・1人で学ぶのか」や「紙を使うのか・タブレット端末を使うのか」などを、自分で選んで決める機会を作ることによって、学習を「自分ごと」として捉え、主体的に学習に取り組めるよう環境を整えています。